

神戸J1連覇

クラブ初、天皇杯と2冠

サッカーの明治安田Jリーグ1部(J1)で、ヴィッセル神戸が8日、2年連



先制点を決め、ガッツポーズする神戸の宮代。後ろは武藤
IIノエビアスタジアム神戸(撮影・笠原次郎)

続2度目の優勝を決めた。リーグ連覇は6クラブ目。今季は天皇杯全日本選手権と合わせてクラブ初の2冠を達成し、創設30年目で四つ目のタイトルとなった。

神戸は吉田孝行監督(川西市出身)の下、高い位置を保って前線からプレスをかけ、攻守に強度の高いプレーを貫いた。今季は選手層に厚みが増し、川崎から加入した宮代大聖は、元日本代表コンビの大迫勇也、武藤嘉紀とともに2桁得点をマークした。序盤から上位を維持し、8月から10月にかけて、同一シーズンでクラブ初の6連勝。11月に入って半年ぶりに首位に立ち、逃げ切った。

クラブ発足後の初練習を予定した1995年に阪神・淡路大震災が発生。低迷期を経て、世界的名手アンドレス・イニエスタを擁した2020年元日に天皇杯で初タイトルを獲得し、昨季はリーグ初優勝を遂げた。

神戸新聞

NEXT



詳しくはこちら